



厚生労働省
埼玉労働局発表
平成26年5月14日

職業安定部職業対策課
課長 加藤 秋雄
課長補佐 新田 純康
地方障害者雇用担当官 腰越 晴彦
電話 048-600-6209

平成 25 年度における障害者の職業紹介状況

25 年度県内ハローワークを通じた障害者の就職件数は、2,973 件
(前年比 11.3%増) と 4 年連続過去最高を更新

厚生労働省埼玉労働局（局長 代田 雅彦）では、今般、平成 25 年度の障害者の職業紹介状況を取りまとめましたので公表します。

埼玉県内の各ハローワークを通じた障害者の就職件数は、2,973 件と前年度より 302 件、11.3%増加し、4 年連続で過去最高を更新しました。

ポイント

- 新規求職申込件数は 7,690 件で、対前年度比 20 件、0.3%の増。就職件数は 2,973 件で、対前年度比 302 件、11.3%の増と過去最高を更新。新規求職申込件数は精神障害者等で増加しており、伸び率も顕著である。

	新規求職申込件数	前年度比	就職件数	前年度比
身体障害者	2,948 件	5.7%減	914 件	0.2%減
知的障害者	1,389 件	5.4%減	796 件	7.7%増
精神障害者等	3,353 件	9.0%増	1,263 件	24.3%増
合計	7,690 件	0.3%増	2,973 件	11.3%増

- 産業別でみると、「製造業（456 件）」、「卸売業・小売業（499 件）」、「医療・福祉（665 件）」、での就職件数が多く、半数以上を占めている。
- 解雇者数は 25 人。（平成 24 年度は 38 人）

障害者の就職状況の概況（25年度）

1 ハローワークにおける障害者の就職状況

	埼玉県		全国	
	就職件数	前年度比	就職件数	前年度比
25年度	2,973件	11.3%	77,883件	14.0%
24年度	2,671件	26.3%	68,321件	15.1%
23年度	2,114件	2.6%	59,367件	12.2%

2 障害種別の就職件数

（ ）内は対前年度比伸び率

	身体障害者	知的障害者	精神障害者等	合計
25年度	914件（△0.2%）	796件（7.7%）	1,263件（24.3%）	2,973件（11.3%）
24年度	916件（14.9%）	739件（20.0%）	1,016件（44.9%）	2,671件（26.3%）
23年度	797件（△4.2%）	616件（0.7%）	701件（13.8%）	2,114件（2.6%）

※「精神障害者等」とは、精神障害者、発達障害者、難病者等である。

3 障害者の解雇届受理状況

	埼玉県	全国
25年度	25人	1,248人
24年度	38人	1,539人
23年度	41人	1,253人

※解雇届については受理した所において計上しており、障害者の居住地により計上したものではない。

※ 全国の障害者の職業紹介状況については、厚生労働省が5月14日に発表しました。詳細は厚生労働省のホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）をご覧ください。

埼玉県障害者職業紹介状況（平成25年度）

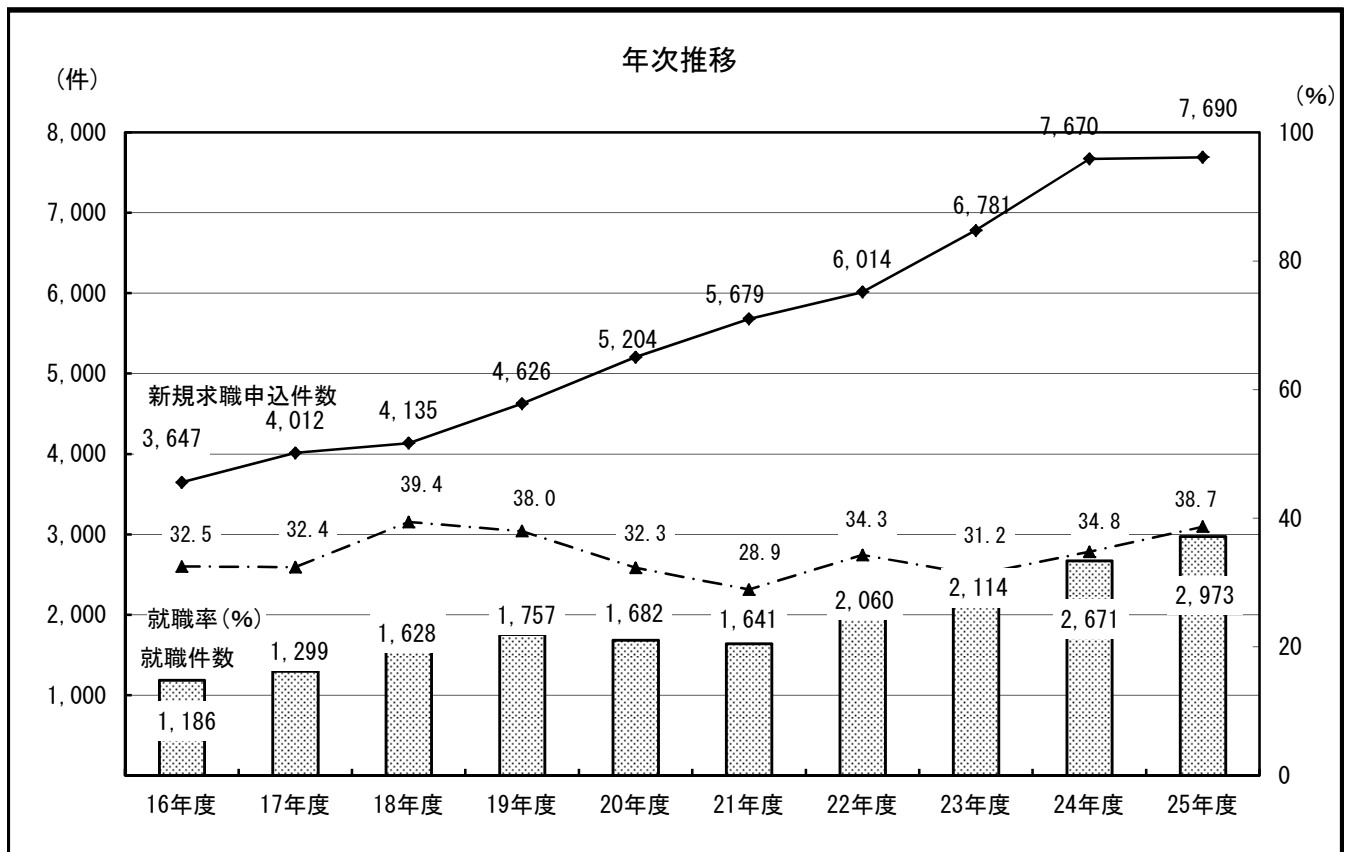
1. 概況

(件、人、件、%)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成16年度	3,647	8.4	6,749	1.1	1,186	19.3	32.5	2.9
17年度	4,012	10.0	6,935	2.8	1,299	9.5	32.4	△ 0.1
18年度	4,135	3.1	6,688	△ 3.6	1,628	25.3	39.4	7.0
19年度	4,626	11.9	6,893	3.1	1,757	7.9	38.0	△ 1.4
20年度	5,204	12.5	6,989	1.4	1,682	△ 4.3	32.3	△ 5.7
21年度	5,679	9.1	7,596	8.7	1,641	△ 2.4	28.9	△ 3.4
22年度	6,014	5.9	7,796	2.6	2,060	25.5	34.3	5.4
23年度	6,781	12.8	8,906	14.2	2,114	2.6	31.2	△ 3.1
24年度	7,670	13.1	9,448	6.1	2,671	26.3	34.8	3.6
25年度	7,690	0.3	9,704	2.7	2,973	11.3	38.7	3.9

※ 就職率＝就職件数/新規求職申込件数

(新規求職申込件数及び就職件数の推移)



2. 障害種別の職業紹介状況

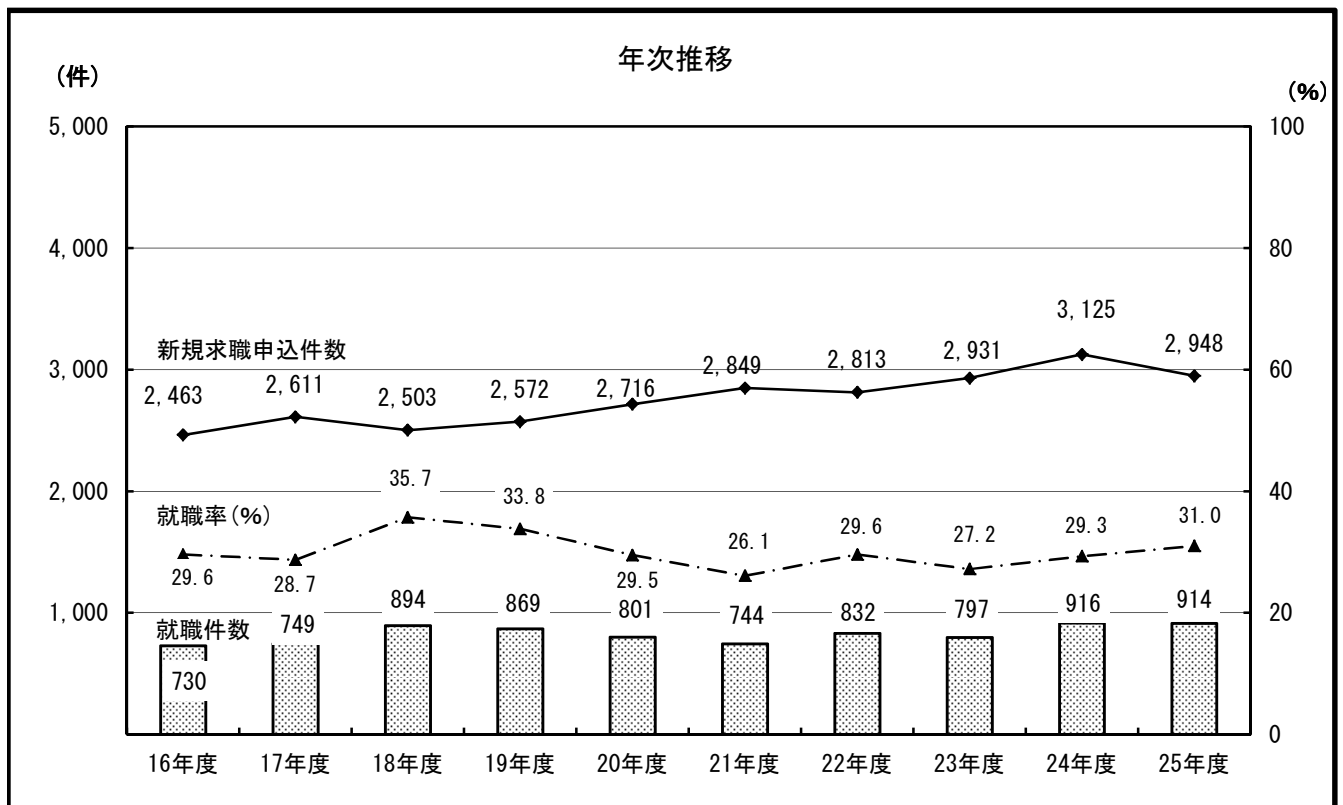
(1) 身体障害者

(件、人、件、%)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成16年度	2,463	0.5	4,590	0.2	730	10.4	29.6	2.6
17年度	2,611	6.0	4,484	△ 2.3	749	2.6	28.7	△ 0.9
18年度	2,503	△ 4.1	4,034	△ 10.0	894	19.4	35.7	7.0
19年度	2,572	2.8	3,963	△ 1.8	869	△ 2.8	33.8	△ 1.9
20年度	2,716	5.6	3,677	△ 7.2	801	△ 7.8	29.5	△ 4.3
21年度	2,849	4.9	3,688	0.3	744	△ 7.1	26.1	△ 3.4
22年度	2,813	△ 1.3	3,624	△ 1.7	832	11.8	29.6	3.5
23年度	2,931	4.2	3,967	9.5	797	△ 4.2	27.2	△ 2.4
24年度	3,125	6.6	3,918	△ 1.2	916	14.9	29.3	2.1
25年度	2,948	△ 5.7	3,903	△ 0.4	914	△ 0.2	31.0	1.7

※ 就職率＝就職件数/新規求職申込件数

(新規求職申込件数及び就職件数の推移)



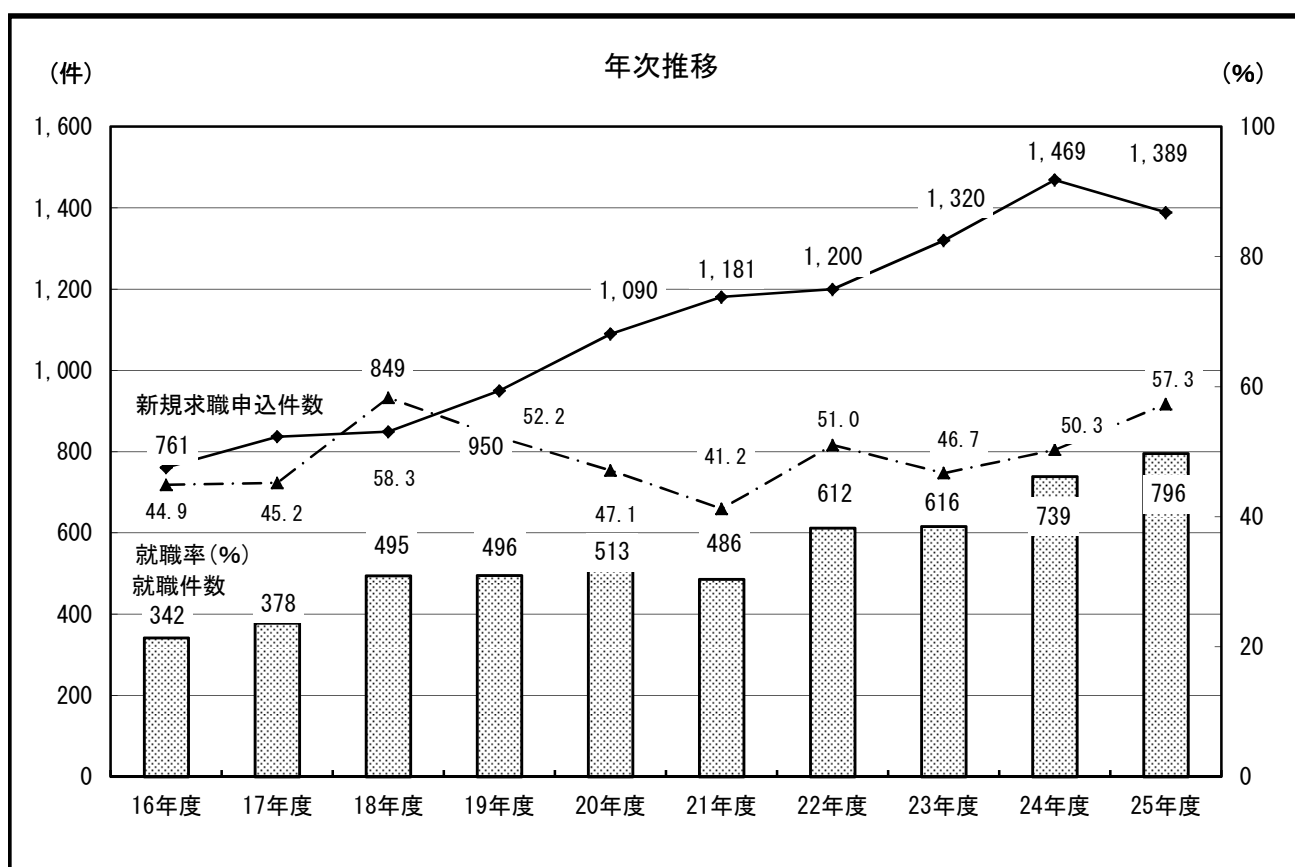
(2) 知的障害者

(件、人、件、%)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成16年度	761	21.2	1,306	0.8	342	31.5	44.9	3.5
17年度	837	10.0	1,443	10.5	378	10.5	45.2	0.3
18年度	849	1.4	1,453	0.7	495	31.0	58.3	13.1
19年度	950	11.9	1,426	△ 1.9	496	0.2	52.2	△ 6.1
20年度	1,090	14.7	1,536	7.7	513	3.4	47.1	△ 5.1
21年度	1,181	8.3	1,769	15.2	486	△ 5.3	41.2	△ 5.9
22年度	1,200	1.6	1,739	△ 1.7	612	25.9	51.0	9.8
23年度	1,320	10.0	1,903	9.4	616	0.7	46.7	△ 4.3
24年度	1,469	11.3	1,956	2.8	739	20.0	50.3	3.6
25年度	1,389	△ 5.4	1,939	△ 0.9	796	7.7	57.3	7.0

※ 就職率＝就職件数/新規求職申込件数

(新規求職申込件数及び就職件数の推移)



(3) 精神障害者等

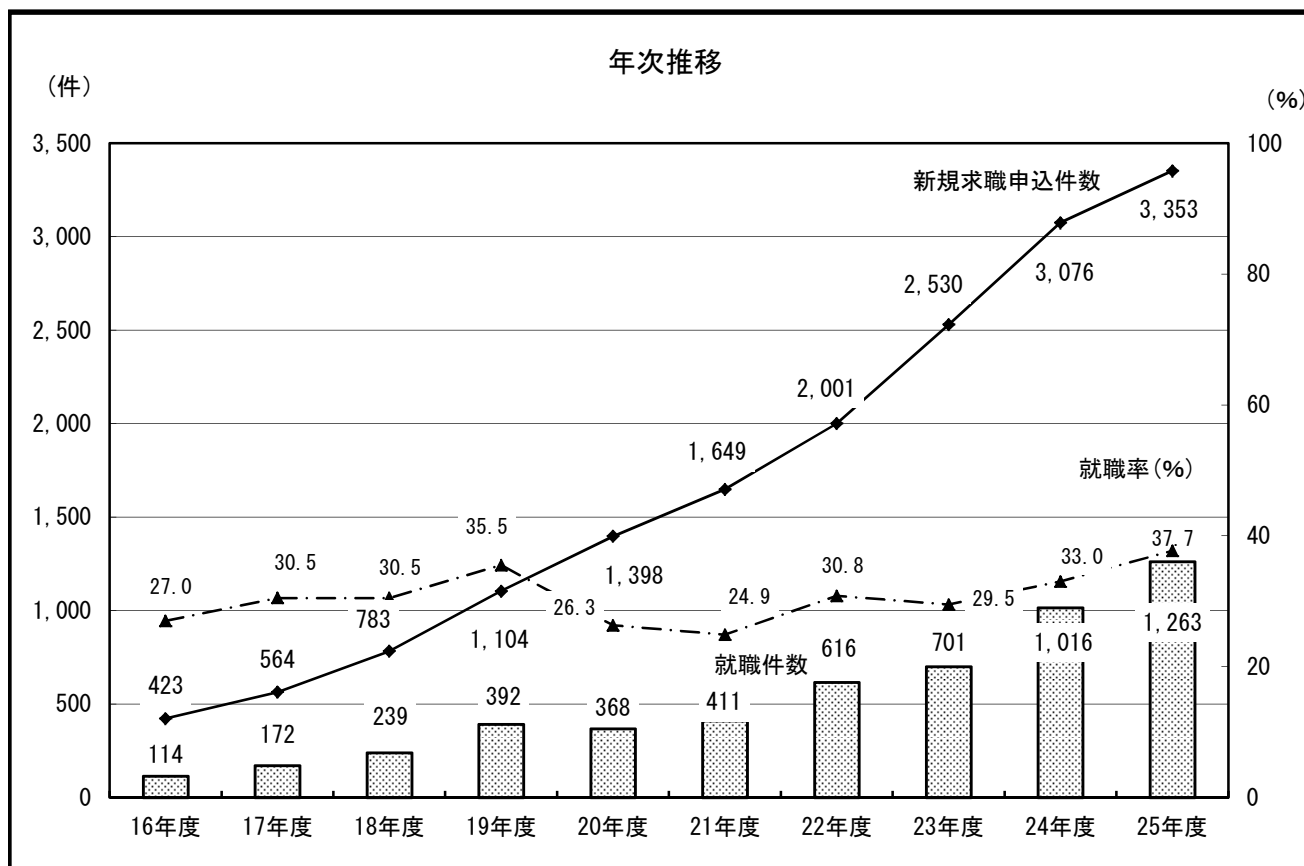
(件、人、件、%)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成16年度	423	48.4	853	6.9	114	56.2	27.0	1.4
17年度	564	33.3	1,008	18.2	172	50.9	30.5	3.5
18年度	783	38.8	1,201	19.1	239	39.0	30.5	0.0
19年度	1,104	41.0	1,504	25.2	392	64.0	35.5	5.0
20年度	1,398	26.6	1,776	18.1	368	△ 6.1	26.3	△ 9.2
21年度	1,649	18.0	2,139	20.4	411	11.7	24.9	△ 1.4
22年度	2,001	21.3	2,433	13.7	616	49.9	30.8	5.9
23年度	2,530	26.4	3,036	24.8	701	13.8	27.7	△ 3.1
24年度	3,076	21.6	3,574	17.7	1,016	44.9	33.0	5.3
25年度	3,353	9.0	3,862	8.1	1,263	24.3	37.7	4.7

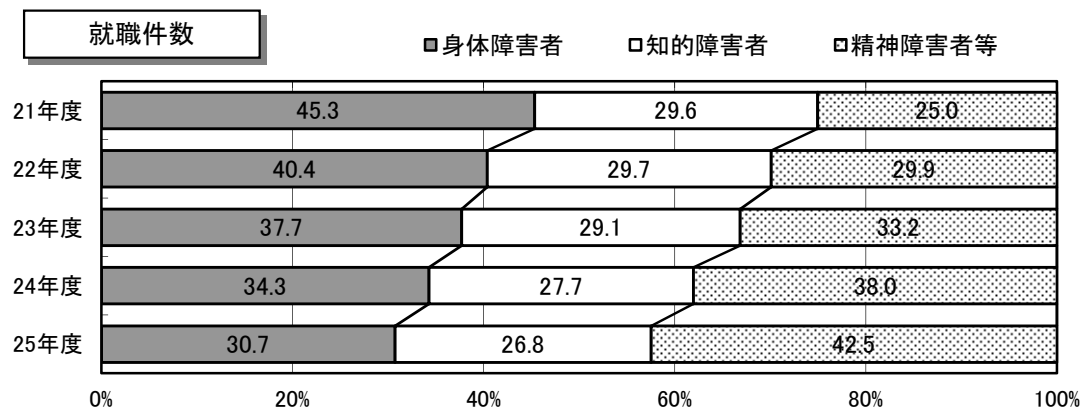
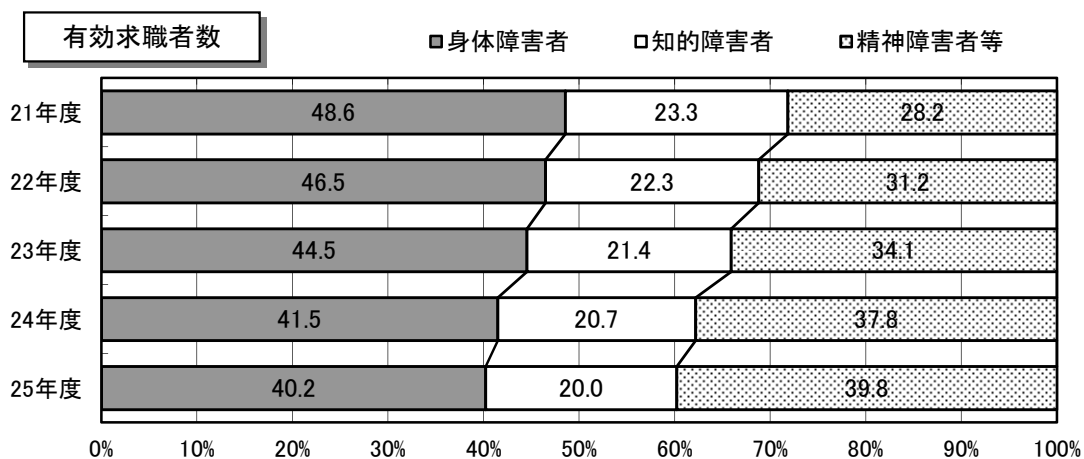
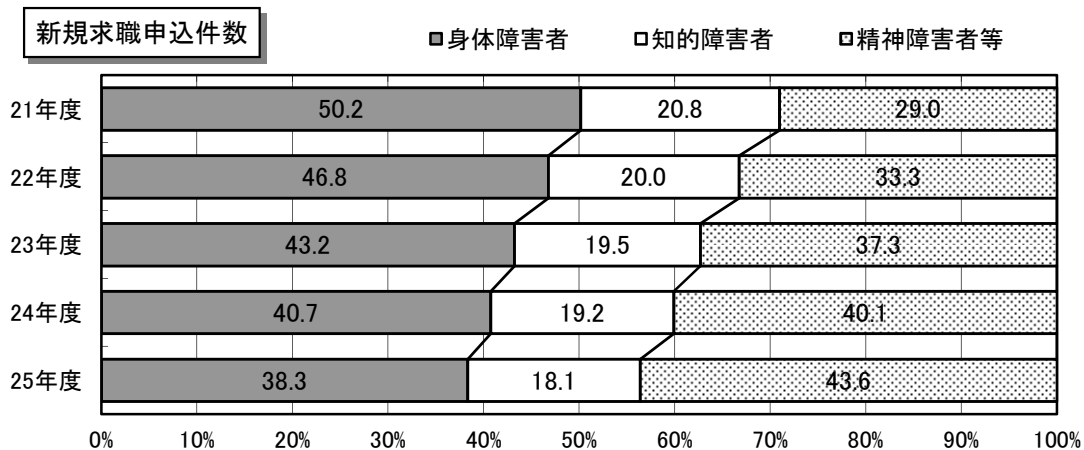
※ 就職率＝就職件数/新規求職申込件数

※2 「精神障害者等」とは、精神障害者、発達障害者、難病者等である。

(新規求職申込件数及び就職件数の推移)

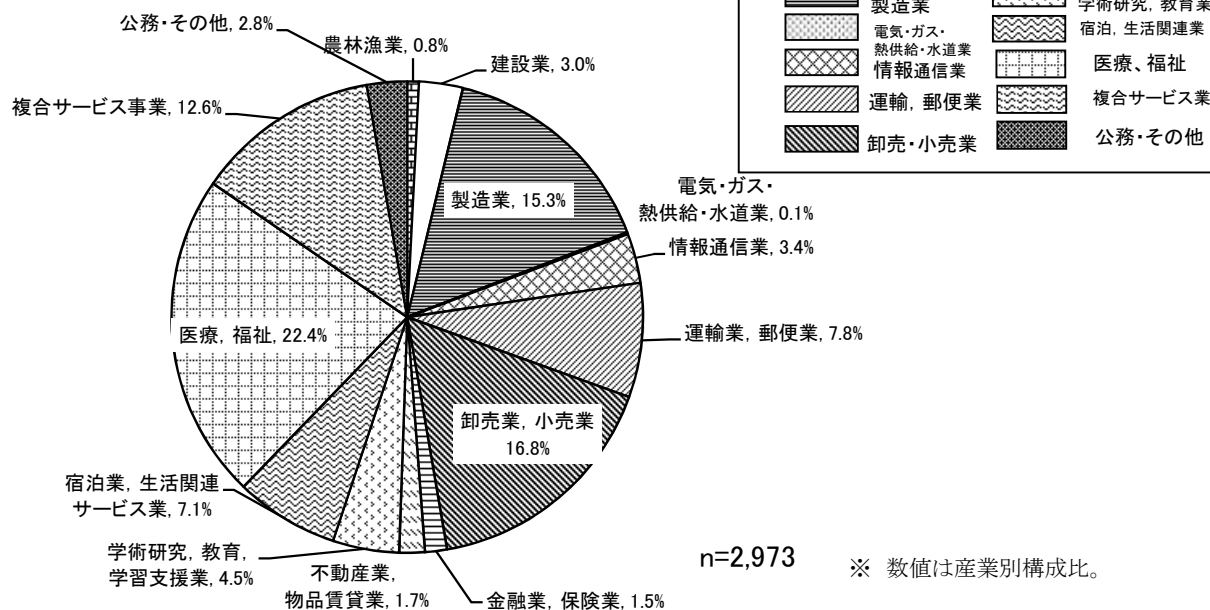


(4) 障害種別の割合

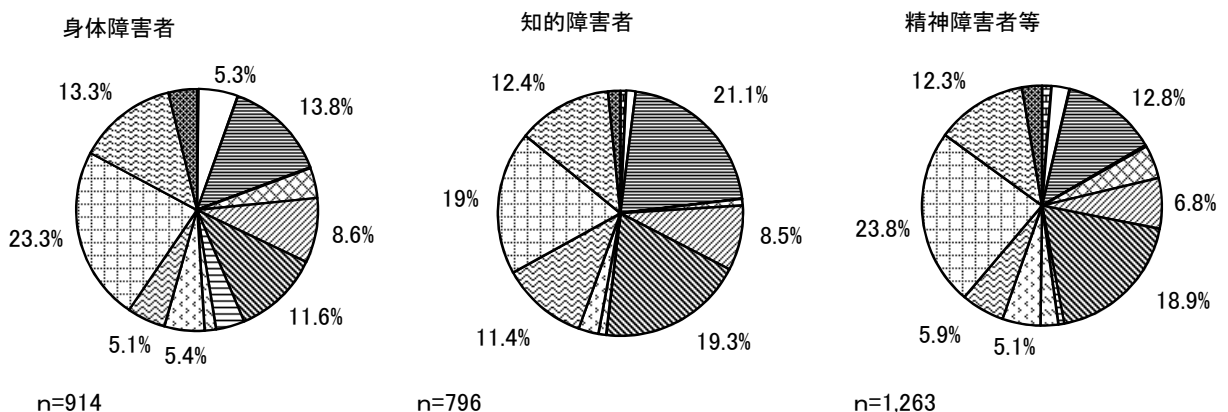


3. 産業別の就職状況

(1) 概況



(2) 障害種別の状況



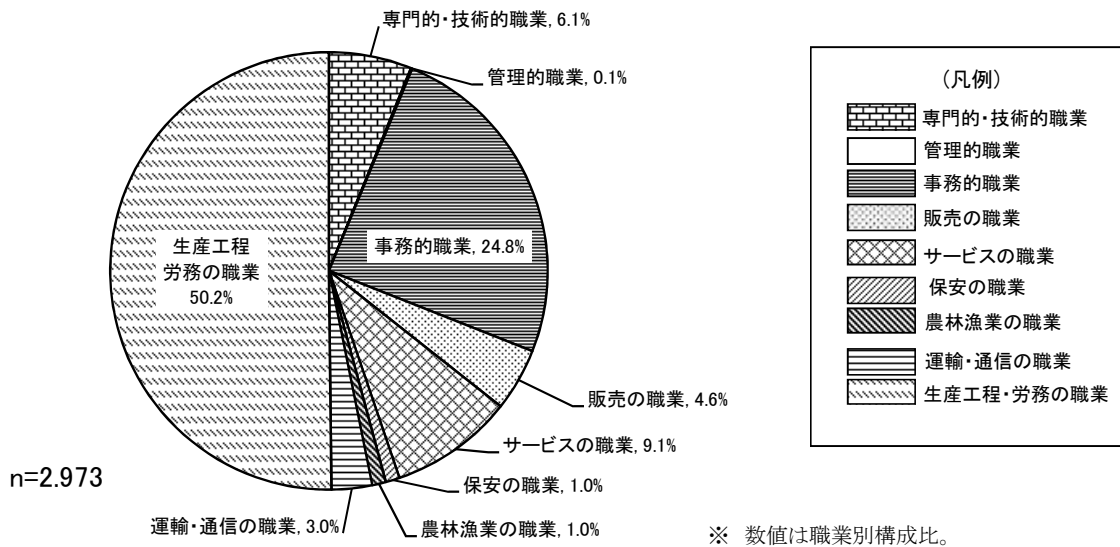
※ 「学術研究、教育、学習支援業」は「学術研究、専門・技術サービス業」及び「教育、学習支援業」の、「宿泊業、生活関連サービス業」は「宿泊業、飲食サービス業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」の、「複合サービス事業」は「複合サービス事業」及び「サービス業」のそれぞれの合計である。
 ※ 「鉱業、採石業、砂利採取業」は該当者がいないため、除外している。

【産業別状況の特徴】

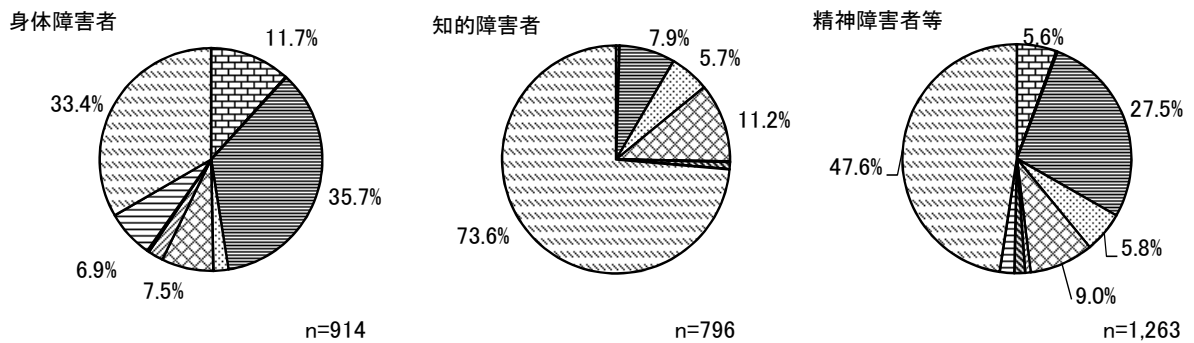
- ・障害者全体では、製造業、卸売業・小売業、医療・福祉の就職割合が高い。
- ・障害種別の状況では、身体障害者及び精神障害者等で医療・福祉が、知的障害者で製造業が、最も高くなっている。

4. 職業別の就職状況

(1) 概況



(2) 障害種別の状況



※「生産工程・労務の職業」は「生産工程の職業」、「建設・採掘の職業」及び「運搬・清掃・包装等の職業」の合計である。

【職業別状況の特徴】

- ・ 障害者全体では、生産工程・労務の職業が過半数を占め、次いで事務的職業の就職割合が高い。
- ・ 障害種別の状況では、身体障害者では事務的職業及び生産工程・労務の職業が、知的障害者及び精神障害者等では生産工程・労務の職業が最も高くなっている。